

令和4年度 公益財団法人江北図書館事業計画

I 基本方針

- (1) 幼児から高齢者を対象に図書資料の提供並びに所蔵歴史資料の紹介をし、青少年の健全育成と一般住民の生涯学習促進に寄与する。
- (2) 図書館以外の施設や専門機関、団体、個人との連携の輪を広げ、地域の多様なニーズに応じたサービスの実現を目指す。
- (3) 地域と共に成長を続ける図書館を目指す。

II 図書館事業

- (1) 運営基盤及び財政基盤の強化
 - ①事業収入を得るための道筋を作る。
 - ②寄付金を広く募る。
 - ③支援・補助金の獲得に努める。
- (2) 図書資料の提供
 - ①文化的で豊かな暮らしに資する読書文化を育むために、資料や情報を提供する。
 - ②当館で図書資料の提供が難しい場合は、県立図書館巡回車による配本を活用し、利用者の要望に応える。
 - ③利用者の関心を高めるため、図書資料の紹介や展示を積極的に行う。
- (3) 図書資料の収集と保存
 - ①学びを支える資料を収集方針に基づき、収集する。特に幼児・児童・生徒向けの図書、郷土資料を充実させる。
 - ②除籍方針に基づいた継続的な除籍を行いながら、収蔵スペースを確保する。
 - ③寄贈の申し出があった際には、寄贈方針に基づいて受入れ、適切な収集と保存を行う。
- (4) 読書相談の充実
 - ①あらゆる利用者にレファレンスサービスやレファレンス情報の提供を行う。
- (5) 本と出会う機会の提供
 - ①図書資料の見せ方を工夫し、本への興味が高まる空間づくりを行う。
 - ②館内でおはなし会や読書会・読書感想文サポート教室等、本に親しむイベントを開

催する。

- ③本に係る地域の活動団体や江北図書館ファンクラブに協力をするとともに、活動の育成を行う。

(6) 歴史資料の活用

- ①江北図書館文庫を活用した資料展示を開催する。
- ②地域の歴史を学ぶ活動団体や江北図書館ファンクラブに協力をするとともに、活動の育成を行う。

(7) 広報活動の充実

- ①ホームページで積極的な情報提供を行う。
- ②SNSを活用し積極的に活動内容を発信する。
- ③広報活動に役立つグッズを作成し、寄付者拡大に活用する。
- ④図書館の情報発信のための冊子を発行する。

(8) 保管期間を経過した雑誌の活用推進

- ①保管期間を経過した雑誌を駅の待合文庫や近隣の施設・団体に寄贈するなど地域と繋がりながら、持続可能な消費形態を確保する。

(9) 読書環境を支える輪の拡大

- ①地域の各種団体・学校・江北図書館ファンクラブ等と連携を図る。
- ②ボランティアや地域の各種団体とともに清掃活動や館内整備を実施する。

III その他

有形文化財としての価値がある建物を活かした取り組みを積極的に進める。

令和4年度予算(案)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人 江北図書館

科 目		公益目的事業会計		法人会計	合計
		図書館事業	収益事業等会計 賃貸駐車場事業		
I 一般正味財産増減の部	1				
1. 経常増減の部	2				
(1) 経常収益	3				
基本財産運用益(利息・配当金)	4	131,000	0	131,000	262,000
基本財産受取利息	5	1,000	0	1,000	2,000
基本財産受取配当金	6	130,000	0	130,000	260,000
特定資産運用益(利息・配当金)	7	1,000	0	1,000	2,000
特定資産受取利息	8	1,000	0	1,000	2,000
特定資産受取配当金	9	0	0	0	0
事業収益(駐車場)	10	0	540,000	0	540,000
賃貸駐車料	11	0	540,000	0	540,000
各種助成金	12	0	0	0	0
	13	0	0	0	0
受取寄付金	14	0	0	0	0
受取寄付金	15	0	0	0	0
雑収益	16	18,000	0	0	18,000
受取利息	17	0	0	0	0
雑収益	18	18,000	0	0	18,000
指定正味財産からの振替額	19	1,000,000	0	0	1,000,000
OPAC積立金	22	1,000,000	0	0	1,000,000
経常収益計	23	1,150,000	540,000	132,000	1,822,000
(2) 経常費用	24				
事業費	25	3,413,000	344,000	0	3,757,000
給料手当	26	2,120,000			2,120,000
福利厚生費	27	5,000			5,000
旅費交通費	28	6,000			6,000
通信運搬費	29	110,000			110,000
消耗什器備品費	30	285,000			285,000
消耗品費	31	100,000			100,000
修繕費	32	50,000			50,000
印刷製本費	33	50,000			50,000
燃料費	34	20,000			20,000
光熱水料費	35	56,000	9,000		65,000
保険料	36	88,000			88,000
諸謝金	37	50,000			50,000
租税公課	38	0	335,000		335,000
委託費	39	138,000			138,000
図書費	40	95,000			95,000
広報費	41	160,000			160,000
雑費	42	80,000			80,000
管理費	43			85,200	85,200
役員報酬	44			0	0
会議費	45			4,000	4,000
旅費交通費	46			1,000	1,000
通信運搬費	47			17,000	17,000
消耗什器備品費	48			15,000	15,000
消耗品費	49			5,000	5,000
修繕費	50			3,000	3,000
燃料費	51			1,000	1,000
光熱水料費	52			2,500	2,500
保険料	53			5,000	5,000
諸謝金	54			2,500	2,500
委託費	55			7,200	7,200
広報費				8,000	8,000
支払負担金	56			7,000	7,000
雑費	57			7,000	7,000
経常費用計	58	3,413,000	344,000	85,200	3,842,200
当期経常増減額	59	△ 2,263,000	196,000	46,800	△ 2,020,200
2. 経常外増減の部	60				
当期経常外増減額	61	0	0	0	0
他会計振替額	62	281,000	△ 281,000	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	63	△ 1,982,000	△ 85,000	46,800	△ 2,020,200
法人税、住民税及び事業税	64	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	65	△ 1,982,000	△ 157,000	46,800	△ 2,092,200
一般正味財産期首残高	66	△ 2,888,451	△ 267,402	2,989,160	△ 166,693
一般正味財産期末残高	67	△ 4,870,451	△ 424,402	3,035,960	△ 2,258,893
II 指定正味財産増減の部	68				
受取寄付金	69	2,500,000	0	0	2,500,000
一般正味財産への振替額(OPAC)	70	△ 1,000,000	0	0	△ 1,000,000
当期指定正味財産増減額	71	1,500,000	0	0	1,500,000
指定正味財産期首残高	72	60,203,879	70,218,611	27,219,589	157,642,079
指定正味財産期末残高	73	61,703,879	70,218,611	27,219,589	159,142,079
III 正味財産期末残高	74	56,833,428	69,794,209	30,255,549	156,883,186